

議会だより



沖縄県金武町

きんてん



金武町イメージキャラクター
金武タームくん

第156号

発行：平成31年3月4日



自然環境に配慮しながら海岸整備が進むギンバル訓練場跡地

主な内容

- 一般質問 2～15P
伊藝菊博／外間慎仁／前田健次／伊藝高志／仲村広美／安富信武／松田義政
伊藝直樹／池原政文／伊芸政男／吉野 潤／仲間トム／大城一之／崎浜秀幸
- 平成30年第6回（12月）定例会・第7回臨時会 16～18P
- 町村議会議員・事務局職員研修／各委員会委員改選 他 19～20P

◆発行：金武町議会 ◆編集：議会広報調査特別委員会

〒904-1292 沖縄県国頭郡金武町字金武1番地 NTT098-968-2292 有線電話8-2292
金武町公式ホームページ <http://www.town.kin.okinawa.jp> 金武町議会メールアドレス gikai@town.kin.okinawa.jp

きんてん（均霑）とは…「^{ひと}均しく^{うるお}霑う」という意味で町民が等しく行政の恩恵を受けられるよう町民代表の議決機関の使命を踏まえて昭和55年の発行第1号の際に命名しました

平成30年第6回(12月)定例会

一般質問

(※質問順に掲載し、質問・答弁は要約)



伊藝 菊博 議員

生活環境衛生

伊藝議員 台風24号で金武町清掃センターの煙突が損壊し、清掃センターが利用できない期間の生活ごみの対処方法は。

仲間一町長 修繕期間中は町外の処理施設への搬出や金武町ごみ処理場への仮置きで対応している。

伊藝議員 悪臭の苦情はなかったか。

儀間権 住民生活課長

シートを被せ、消毒をしているが日によって、少し匂



ごみ処理場の仮置き場の状況

いがあると聞いている。

伊藝議員 修繕期間は。

住民生活課長

10月1日から11月12日までの約1か月弱である。

伊藝議員

仮置き場のごみの量は。

住民生活課長

150トンの確認はとれている。

伊藝議員 近隣市町村との災害協定は結ばれているか。

町長 県内8カ所で焼却施設の整備、故障等及び自然災害やその他の事由により一般廃棄物の処理が困難な状況において、それぞれの処理施設の余力の範囲内で受託処理を行っている。

伊藝議員 粗大ごみ処理券はどのように販売しているか。

町長 平日は役場住民生活課(環境係)及び各区事務所、土日祝祭日は役場の日直とごみ処理場で販売している。

伊藝議員 常時ごみ処理場での販売はできないのか。

住民生活課長 現場で常時販売できるよう検討している。

伊藝議員 粗大ごみ処理場への案内はどのようにしているか。

町長 春と秋に行う各班清掃の際に各区へ処理場の案内を行っている。

伊藝議員 ボランティア袋(仮称)を提供して地域のボランティア活動への促進を図る考えは。

町長 春と秋の各班清掃や夏の海浜清掃の際に無料で



金武町粗大ごみ処理券

ごみ袋を配布しているが町内外のボランティア活動促進のためにボランティア専用袋を作成する必要があると考えている。今後はボランティア袋のデザインや使用の範囲、またごみの出し方について検討していく。

伊藝議員 ボランティアが、海浜清掃をしたあとゴミを袋に入れず空き地にそのまま置いていた。近所の住民が指定袋を買い分別していたが。

住民生活課長 ボランティアで頑張っている方々もいるため取組みを考えていく。

伊藝議員 ごみ袋に英語版もあるのか。

住民生活課長 英語版はないため今後は英語版や他言語も必要だと考えている。



外間 慎仁 議員

ギンバル開発によるまち全体の経済効果をあげる仕組みづくりと活性化

外間議員 商店街や中心市街地との連携による経済効果、仕組みづくりは。

仲間一 町長 商工会、社

交飲食業組合、観光協会、事業者との連携を図り、魅力ある店舗の形成、商品開発、町内めぐりや店舗めぐり等のメニュー開発、観光大使の活用、町内の周遊を促すための交通機関、誘導案内サイン、観光ポータルサイト及びWiFi設備の拡充等の基盤整備と支援を行う必要があると考える。

外間議員 現在の空き店舗

対策事業の状況は。

安富祖勲 商工観光課長

助成件数が39件。家賃15万円、改装費20万円、町民を雇用すると15万円で合計が最大50万円助成する制度となっている。

外間議員 アクティブパークの活用は。

町長 商工会、社交飲食業

組合と話し合いをしながら観光協会がリーダーシップをとるような仕組みづくりをしていく。



アクティブパーク

道の駅構想による観光拠点・農業・6次産業化の振興

外間議員 道の駅構想による観光拠点づくり形成は。

町長 観光及び産業の振興

を図るため観光情報のPR機能、特産品の直売、加工、飲食機能等が一体となった拠点整備に向けて金武町道の駅基本計画策定委員会により審議を進めている。

外間議員 道の駅構想による農業振興と所得向上は。

町長 全般的な取組みとして

営農指導の充実と農産物の拠点産地化への取組み、各種助成による支援を行っている。

外間議員 金武町で観光拠点の役割を担っているところはあるか。

商工観光課長 ネイチャー

みらい館や観光協会、金武アクティブパークを管理している社交飲食業組合が担

える部分があるが、一元化した窓口という意味ではできていない。

外間議員 今後ホテル計画

があり観光拠点の必要性を感じるがどう考えるか。

町長 観光協会の事務局を

商工観光課の中に配置し、連携をとって観光振興のあり方を協議している。いろんな協議をしよう中で早目にこの観光拠点施設、あるいは金武町のこの情報発信する場所を早目に設置していく。

外間議員 道の駅構想の直

売所で流通販売の仕組みを作っていくとあるが。

町長 基本計画策定の中で運営主体を募集するという

ことで動いている。今年度中に、運営主体の選定をしたい。

台風24号・25号の農林水産物の被害状況と対策

外間議員 町の被害対策は。

町長 農業者が独自に加入

している農業共済保険の適用の他、サトウキビ次期作付用の苗及び水稻の種もみを町で確保し無料配付を行うっていく。保険未加入者は堆肥購入の補助割合を30%から50%に引き上げて支援を行っていく。

外間議員 保険の加入率は。

糸村昌敏 農林水産課長

水稻が70%、サトウキビが62%のとなっている。

外間議員 加入率を上げる

には。

糸村昌敏 農林水産課長

パンフレット配布や説明会を開催し、加入に向けて取り組む。



前田 健次 議員

台風による災害対応や 家屋、農畜水産物等の 被害状況

前田議員 金武町災害対策本部の運営概要は。

仲間一 町長 台風が接近するおそれがある場合、対策会議を開催し、各課事前対策の報告、児童・生徒等への対応確認、各施設の運営等の判断を行い、町民へ台風に対する注意喚起、各施設及び学校等のお知らせを有線放送、町ホームページ、フェイスブック、ライン、金武町メール、防災無線で周知している。その後、沖縄気象台へ暴風警報発表の見込みを確認し、

保健福祉センター、伊芸地区公民館、屋嘉地区公民館に避難所の開設を準備している。

前田議員 災害対応部署の
出勤内容は。

町長 総務課職員が役場で待機し、関係機関との連絡被害状況及び避難所への避難状況の確認をしている。

前田議員 台風24号、25号での停電や通信障害等の復旧状況は。

町長 停電は全世帯が復旧するのに1週間程度、NTTや有線放送電話の通信障害の復旧には1カ月かかった。

前田議員 農業施設等の被害状況は。

町長 ハウスのネットや豚舎の屋根が被害を受け、被害額が654万9000円となっている。

2019年度予算の 概算要求

前田議員 概算要求の基準
内容は。

町長 本町の財政状況は扶助費、補助費等といった経常経費が増加傾向にあり、基金に依存した予算編成が続いていたが、平成29年度は財政調整基金の繰り入れはなく、実質単年度収支が黒字となった。このことから、次年度の予算要求は、義務的経費を除き平成29年度予算を参考に行うよう予算編成方針の中で示している。

前田議員 健全な財政運営の観点から政策効果にどう結びつけていくか。

町長 さまざまな国や県の補助事業を活用することや、財政検討委員会において各事務事業の費用対効果を検討し、効率化を図ることにより一般財源を確保し

つつ、最少の経費で最大の効果が得られるよう努めていく。

前田議員 総合計画基本構想の中に行政運営の向上のため組織改善、人材育成、事務改善で推進するところがあるが。

金城司 企画課長 財政検討委員会を今年度6回ほど実施し、その改善を図っている。

前田議員 公共施設は建設の必要性を精査して予算の配分を検討すべきだと考えるが。

企画課長 全ての内容を精査して、事業導入に際して無駄をはぶき必要な部分は確実に推進し、予算を効率的に運営していく。

前田議員 消費税率10%への引き上げ後の諸施策への影響は。

町長 増税後も今後の諸施策に影響がないよう事業計画及び財政運営に取組んでいく。

教育現場での 色覚障がいの実態

前田議員 学校検診で色覚検査は実施しているか。

比嘉貴一 教育長 平成28年度から保護者が希望した場合のみ実施している。

前田議員 児童・生徒の色覚障がいの実態は。

教育長 平成30年度は小学校で2人が色覚異常と判定されている。疑いのある児童が6人おり再検査及び病院受診への案内を行っている。中学校では色覚異常と判定された生徒はいないが疑いのある生徒が3人いるため受診を勧めている。



伊藝 高志 議員

台風24号時の 新開地の断水

伊藝議員 断水の原因は。

仲間一町長 金武浄水

場及び金武ポンプ場が9月29日午前11時頃から9月30日午後10時頃まで約35時間に及ぶ長時間の停電により稼働が停止し、金武公会堂裏の1000トンと70トン及び新開地の奥にある800トンのタンクへ送水できなかつたことが原因である。

伊藝議員 非常時の対応は。

町長 9月30日午後2時頃から深夜午前12時頃までの間、金武区域6カ所で緊急

給水活動を行った。金武ポンプ場での給水と断水地域で給水対応を行った。

伊藝議員 断水した地域の範囲は。

町長 金武地区公民館周辺、新開地、浜田、渡慶頭である。

伊藝議員 今後の対策は。

町長 電気の確保が重要であり、非常用発電機の確保を含め検討していく。

給水が必要な場合も町民の方々に安心して給水が受けられるよう備えていく。



金武公会堂裏のタンク

台風24号・25号の 農業・漁業への影響

伊藝議員 農産物、漁民被害状況は。

町長 農作物被害額9800万円、水産物被害額228万円、農業用施設被害額249万9000円、畜舎被害額405万円である。

伊藝議員 支援対策は。

町長 ハウス用の防風ネットや豚舎屋根のトタン等の施設資材購入の50%補助の支援を行っていく。

伊藝議員 今後のハウス対策は。

町長 国、県の補助事業を活用しながら災害に強い施設整備づくりについて農家と連携して取組んでいく。

伊藝議員 今後の予定は。

町長 台風直後には被害状況が確認できなかった作物等の追加支援等を講じていく。

町内のテレビ受信障害

伊藝議員 受信障害は把握しているか。

町長 並里区長や地域の方から情報提供を受けた際に現場を確認し、状況を把握している。

伊藝議員 受信障害の範囲は。

町長 金武小学校北東側に位置する並里4区1班と4区2班付近である。

伊藝議員 伊芸や屋嘉など受信障害の情報はないのか。

金城司 企画課長 その

他の地区に関しては受信障害の情報がないため調査は行っていない。

伊藝議員 受信障害の原因は。

町長 4区1班は金武小学校や体育館等の一部が受信障害の原因である。4区2班は明確な原因は判明していないが、沖縄総合通信事

務所と連絡をとり確認をしている。

伊藝議員 対策はしているか。

町長 4区1班は域内に受信ブースターを2基設置しているほか、平成21年度から平成23年度までにデジタルサポートセンターを通して簡易チューナーの無償配付やチューナーアンテナ購入時の助成金サポート等を実施している。4区2班は並里区や対象世帯と協議を図りながら、受信障害の課題解決に向けて取組んでいく。



設置された受信ブースター



仲村 広美 議員

ごみの出し方

仲村議員 ごみ分別の仕方を詳細に広報する必要がありと考えるが。

仲間一 町長 7月にごみの正しい分け方、出し方のポスターを全世帯に配布している。

また、ごみの詳細な分別や出し方に関しては、建設中の新焼却施設の稼働に合わせて金武地区消防衛生組合、金武町、宜野座村の3者間の担当において、新たな分別表の作成に取り組んでいる。



配布しているごみの分別ポスター

仲村議員 資源ごみの回収日に雨が降ると次の回収日まで保管しなければならぬが、雨天時でも回収できる対策を考えているか。

町長 ペットボトルや電池照明類は雨天時でも回収を行うが、古紙類については回収していない。雨天時に古紙類を濡らさずに回収することは非常に困難である。濡れてしまうと、リサイクルできず、限りある資源の活用ができなくなる。近隣市町村においても、本町と同様の措置がとられており、古紙類に関しては次回収集

日での回収となっている。引き続き町民には理解、協力をお願いしたい。

仲村議員 ごみに関するホームページの情報が更新されないが。

安富祖昇 総務課長 改めるところは改めていきたい。

キャンプ・ハンセンへ移設される倉庫施設、整備工場宿舎

仲村議員 倉庫施設、整備工場、宿舎等の現在の進捗状況は。

町長 キャンプ・ハンセンのマスタープランに示され

た施設の配置及び規模等の詳細を日米間で調整している状況であると報告を受けている。

仲村議員 振興策の進捗状況は。

町長 金武町複合庁舎建設は、再編推進事業補助金の活用等に関連して防衛省と調整を始めている。

新たなメインゲートの整備には、沖縄防衛局が関連工事に係る一般競争入札公告を開始している。

キャンプ・ハンセン内再編関連工事の町内業者優先活用は、沖縄防衛局から町内業者を対象に統合計画の受け入れに関する説明及び入札制度に関する説明が行われた。

キャンプ・ハンセンにおける町民の優先雇用は、町民を対象に独立行政法人駐留軍等労働者労務管理機構による在日米軍従業員の募集及び応募に関する説明会

を開催した。

国道329号の渋滞緩和は、金武バイパス終点からうるま市石川赤崎間の2車線区間の交通渋滞状況を把握するため1週間交通量調査等を実施しており、現在は調査結果をもとに渋滞要因の特定するための分析作業を進め、今後分析結果をもとに渋滞対策の検討を進めると聞いている。

仲村議員 町民への説明をどのように取組んだか。

町長 各区の行政懇談会で報告した。また広報金武への掲載等により町民へ周知を図っている。

仲村議員 これからの課題に対する町の考えは。

町長 基地を抱える市町村の地域住民が迷惑を受けることはあってはならないため、国の方と対峙しながら話し合いできる体制づくりで挑んでいく。



安富 信武 議員

沖縄県民の民意

安富議員 県民投票への町の投票事務協力は。

仲間一 町長 県民投票

条例第13条において市町村に移譲されており、事務の執行に係る経費は義務費となるため法令に従い執行しなければならぬと考える。

安富議員 条例案提出は有権者数何%の署名が必要か。

安富祖昇 総務課長 有権者数の50分の1が必要である。

安富議員 この署名者数の

結果は新基地反対の民意が示されたと報道されているが町の見解は。

町長 新知事が当選されたことが沖縄県民の民意であるという認識である。

安富議員 事務委託に対して県からどういった要請があったか。

総務課長 投票資格者名簿

の調製、投票票の事務の実施について要請があった。

安富議員 万が一事務費の予算が否決された場合、町

として次にとるべき手続きは。

総務課長 再議という事務手続きになる。

安富議員 日米地位協定を

どのように考えているか。

町長 米軍基地をめぐる諸問題の解決策として日米地位協定の運用改善が行われているが、まだ不十分であると感じている。

安富議員 山火事の情報等、

随時報告を受けているか。

町長 山火事や演習の報告

はその都度受けている。

安富議員 山火事がおきて

も基地内に立ち入れないが。

金城司 企画課長 日米

地位協定の3条で、米軍が使用する施設区域においては基本的にアメリカ合衆国が管理運営することになっている。

ここに立ち入る場合は、安全性を確認した上で許可

をもらい立ち入るといふことになっているため、山火

事が起こったとしてもすぐには入れない状況である。

許可をもらった上で入るといふ形になっている。

安富議員 日米地位協定の

見直しは重要な課題だと考

えるが。町長 日米地位協定の改定や沖縄県の基地負担軽減、事件、事故の防止等に関する要請は沖縄県及び近隣市町村と連携し行動していく。

インバウンド (外国人観光客)

安富議員 金武町を訪れる

観光客数や消費行動は。

町長 観光客数はネイチャー

みらい館の利用者数とスポーツキャンプ、イベント等での把握している入域数を約20万人と推計している。そのうち、外国人観光客はネイチャーみらい館の利用割合が約0.5%となっており、全体で数千人程度の入域があると推測している。

消費動向は宿泊費、飲食

費、娯楽・入場費が主なものと考えている。

安富議員 ギンバル跡地に

ホテルを計画している。トロピカーナ社から遅れたことについてどのような要請が出ているか。

町長 工事の遅れに伴う同

社からの要望については現在確認中となっている。

安富議員 進出してくるヒ

ルトンホテルのインバウンドは。

町長 ホテル建設の進捗に

合わせて同社と連携を図り、誘客プロモーションをはじめ人材育成、町内の周遊を促すための交通機関、誘導案内サイン、観光ポータルサイト及びWiFi設備の拡充、情報媒体等の基盤整備と支援を行う必要があると考えている。

安富議員 トロピカーナ社

と調整はしたか。

安富祖勸 商工観光課長

2月第4週に町長及び担当職員が同社を訪問し、詳細を確認する予定となっている。



ホテル建設予定地



松田 義政 議員

町の行財政の現状と運用

松田議員 高コストを解消する手だては。

仲間一 町長 町民への

行政サービスを維持しつつ、コスト削減を図るため、保育所の民営化や事務事業の効率化、費用対効果について引き続き検討を行い行政改革に努めていく。

松田議員 財政調整基金を増額する考えは。

町長 町は5億円から7億円程度を維持することとしており、現在の残高がおよそ6億9200万円でその範囲内にある。

財政調整基金はその性質上、決算剰余金により積み

立てられるため、計画的な基金の増額については、その他目的基金に積み立てることとしている。

松田議員 各団体への補助金の他市町村並の運用は。

町長 補助金は全体で約4億300万円であり、県内の類似市町村における補助金は3億円ほどとなっております、1億円ほどの差があるため今後も引き続き補助団体の精査や補助額算定の見直しなど財政検討委員会等において検討をしていく。

松田議員 金武町は扶助費が県内でも高いが、要因は。

金城司 企画課長 障がい福祉サービスに係る予算、こども医療助成に係る予算などの社会保障費が増額していることが扶助費増の要因である。

松田議員 職員の評価制度の状況と臨時職員の制度化に向けた取組みの状況は

町長 平成32年度を目的に評価結果を賞与に反映していく予定である。

臨時職員・嘱託職員・賃金職員を会計年度任用職員に統一する予定であり、今年度から新制度への制度設計を進め、平成32年度からのスタートを予定している。

松田議員 町の行政改革や財政検討委員会でのいかなうな方策が練られているのか。

町長 町の財政運営において補助費等の経常経費が増加傾向にあることから、財政検討委員会で補助団体53件についてその公益性などを精査し補助額の見直し等について検討しているところである。

ギンバル跡地利用の進捗

松田議員 海岸護岸事業が

着工され、トロピカーナ社の必須条件が整っているが、ホテル等着工の進捗は。

町長 同社によるホテル等建設の着工及び完成時期は、平成31年2月にマレーシアを訪問し、詳細の確認を行う予定となっている。

松田議員 既設の各施設の運営状況は。

町長 平成29年度実績で、株式会社佐喜眞義肢はCBブレースが3074本の出荷数で、雇用は14名中、町民は3名である。

KIN放射線治療・健診クリニックは実績利用人数8541名で、雇用は37名中、町民は14名である。

KINスポーツ・整形クリニックは実績利用人数2万1098名で、雇用は33名中、町民は12名である。

発達支援センターぎんば

るの海は実績利用人数4834名で、雇用は14名中、町民は6名である。

松田議員 スポーツ施設等の利用について町独自の計画性を持った考えはあるか。

比嘉貴一 教育長 金武町ベースボールスタジアムでは金武町長杯少年野球大会、一般軟式野球金武町リーグなどで利用されている。

金武町フットボールセンターでは金武中学校や町内少年サッカークラブの練習試合、金武町ミニサッカー大会が開催されている。

また韓国プロ野球の起亜タイガース及び東北楽天イーグルス、浦和レッズ及び水戸ホーリーホックのプロチームによるキャンプも実施しており、町内少年野球チームやサッカークラブへのプロ選手による教室等も実施している。



伊藝 直樹 議員

中川区

伊藝議員 金武町指定文化財のナコーガが名古屋川原、ギンバルガータが源原、ティカジャヤーが頭呂地原、名称不明のカーが志那田原にあるが、現在の状況は。

比嘉貴一 教育長 ギンバルガータは既に埋め立てられていますが、残る3カ所の井泉は現在も残っている。

伊藝議員 どこが管理しているか。

教育長 ナコーガは並里区の所有で区が管理をしている。ギンバルガータ及びティカジャヤーは個人所有の土地で所有者の管理となっている。

名称不明のカーは金武町名義の土地にあるが、旧慣による金武町公有財産の管理等に関する条例により並里財産管理会に使用権が設定されており、並里財産管理会の管理となっている。



金武町指定文化財のナコーガ (名古屋川)

伊藝議員 町は中川区の墓地計画で墓地関連事業者へ呼びかけをしているか。

仲間一 町長 大手の墓地関連業者に対して個別に町の状態を説明し、霊園墓地及び進入路等も含めて整備及び管理等できないか調整を行っている。

伊藝議員 墓地周辺の道路整備がされていないところはどう考えているか。

町長 中川区の墓地指定区域案としてヒルギダ(飛留喜田原)地域とギンバル(源原)地域だが、両地域を挟むようにして国道329号バイパスがあることから将来的には宅地や産業地域としての可能性が高く、ギンバル(源原)地域は施設やホテル等の建設も計画されており、中川区の発展地域として見込まれ、墓地指定区域案として妥当か再検討が必要と考えている。

農業振興

伊藝議員 水稻、田芋農家の戸数と農業用水の平均額はどれぐらいか。

町長 平成29年度の水稲、田芋生産農家の戸数は水稻農家が121戸、田芋農家が66戸となっている。

水稻・田芋農家の年間水使用料は水田の規模等により差はあるが、年平均約8万円程度となっている。

伊藝議員 水代の料金値下げを検討する考えはないか。

町長 水使用料は1立米当たり13円と近隣市町村と比較しても安価な設定となっており、その財源で金武土地改良区が貯水池や配水管等のかんがい施設の維持管理を行っている。

町としては、かんがい施設を安定的に管理するには一定の受益者負担は必要であると考えているため農家には理解をしていただくかと考えている。

伊藝議員 バキュームカー1台の農家の負担額は。

町長 汲み取り料金がバキュームカー1台500円となっている。また、水肥として田畑等で利用する農家の方には無料で還元を行っている。

伊藝議員 農家の利用人数は。

町長 家畜ふん尿の汲み取りを利用する養豚農家数は現在8人、水肥として田畑等で利用する農家延べ数は平成29年度で352人、平成4月から10月までは206人となっている。

伊藝議員 バキューム事務所は雨漏りやトイレが使えない。建てかえが必要だと考えるが。

町長 老朽化による雨漏りや壁の損壊等が生じているため早急に改修できるように取組んでいく。



バキューム事務所



池原 政文 議員

山田川の改修

池原議員 山田川冠水の原因を詳しく調査したか。

仲間一町長 当該箇所は、特に低地帯であり川幅が狭く満潮時の大雨等で氾濫している状況は把握している。

池原議員 改修計画は。

町長 住民の通行に支障を来さないよう冠水対策として、氾濫箇所ブロック積みを実施していく。

その後、経過を確認しながら改修が必要な場合においては改修を検討する。

池原議員 道路として利用できるようにカルバート方式にすることで冠水も無く

なり、高速道路までつなげれば農業振興にもなると考
えるが。
宝正徳 建設課長 補助
事業のメニューが導入できるかプロジェクトの調整をしていく。



現在の山田川

上ノ島原冠水対策

池原議員 冠水対策をどのように考えているか。

町長 排水路の清掃と水路敷にコンクリートを張り、流れが滞らないよう対策を講じた。

現在、田んぼから流入す

る土砂や、排水路からつながる側溝への排水処理等の状況など経過確認を行っている。



大雨時に冠水していた上ノ島原の道路

発達障がい児の支援

池原議員 障がい及び疑いがある幼児・児童の人数等の把握はしているか。

比嘉貴一 教育長 町立認可園、私立認可園及び認可外保育所に26人おり、その内訳として、障がいの診断を受けている児童が21人、障がいの疑いのある児童が5人である。

また、特別な支援を要す

支援が必要であると判定された町立小学校の児童の人数は、特別支援学級の児童を含め、107人である。

池原議員 障がい児の放課後児童健全育成事業の利用人数は。

教育長 疑いも含め障がいがある児童の利用者数は21人となっている。

池原議員 認可外保育園の障がい児を把握する訪問支援は行っているか。

教育長 障がい児の利用希望がある場合は認可園の利用を勧めているため、認可外保育施設における障がい児を把握するための訪問支援等は実施していない。

池原議員 障がい児家族などの支援は。

教育長 金武町障がい児自立支援福祉サービス費給付等助成事業を実施し、15人の児童の保護者が助成を受けている。

る児童・生徒について協議する教育支援委員会を通して保護者との情報共有や相談を行っている。

経済的な支援として、特別支援学級に在籍する児童・生徒に対する特別支援就学奨励費の給付、特別支援学校への通学支援として介護タクシー等の利用料の助成を実施している。

池原議員 障がい児の支援に関わる職員、支援員の研修は。

教育長 金武町・恩納村・宜野座村の3町村合同で発達障がい児への理解と支援を中心に保育・教育現場の方や事業所職員及び保護者に向けた研修を毎年実施している。



伊芸 政男 議員

コンビニ交付
サービスの導入

伊芸議員 町のコンビニ交付に向けての取組は。

仲間一 町長 サービス

導入及び運営に係る地方財政措置が不透明な部分もあることから今後、国の動向を注視し、町民の利便性向上のため導入に向け検討していく。

伊芸議員 特別交付税措置

の期限が平成31年度末までとなっているが、期限延長の可能性はあるのか。

町長 当プロジェクトでは

今後の導入市区町村の推移を踏まえ、2年ごとに見直しを行う予定とされている。

伊芸議員 運営負担金の減額は。その減額は見込めるのか。

町長 年額100万円が70

万円に減額となり、コンビニ事業者への委託手数料も1件当たり123円が115円に減額されている。

伊芸議員 町民の利便性の

向上、役場窓口業務の負担軽減も図られるため、導入してほしいが。

町長 伊芸区、屋嘉区、中

川区は証明書を取るためにタクシーを使っている。また、町外で仕事をされている方々も役場に来なくても良いため導入に向けて検討していく。

伊芸議員 人口規模3万人

以下の自治体で普及が進んでいないのが現状であるが、ベンダー各社に対してシステムを採用する考えはないか。

儀間権 住民生活課長 情

報を取り入れ、タイミング、

時期等を含めて検討していく。



コピー機から各種証明証を取得する(イメージ)



各種証明証を発行している窓口の様子

嘉喜又原排水路
敷きの木々の伐採

伊芸議員 水路敷の木々が

水路に覆いかぶさり、一部枯れ葉等が堆積した箇所があるため景観を悪くしている。対策が必要だと考えるが。

仲間一 町長 木の枝や

落ちた葉が川底に堆積し、排水機能に支障が生じる恐れがあるため伐採や堆積物等の撤去等の対策を講じていく。

伊芸議員 ガチマター(嘉

喜又原)排水路周辺、住宅などが建ち並び、いい生活環境にある。今、排水路敷の木々等が水路に覆いかぶさり景観を損ねている状況のため、早目にこの伐採をしていただきたい。



草木が生い茂った嘉喜又原の水路敷



吉野 潤 議員

台風による町内の被害状況と対策

吉野議員 町が管理をしているカーブミラー、街灯などの被害状況は。

仲間一 町長 台風24号、25号によりカーブミラーの倒壊が7基あったが、現在復旧に向け取組んでいる。

街灯は約300基が消灯となっており、断線や倒壊など専門業者による修繕が必要とされた街灯は約100基であった。
現在、専門業者と連携して修繕作業を行っている。

吉野議員 有線放送等の配線、システムの被害状況は。

町長 台風24号での被害に

より使用ができない、あるいはケーブルの断線などの連絡を受けたのが291件あり、復旧作業を行った。

有線放送施設のシステムの被害はなかった。

吉野議員 海岸の暴風保安林、飛砂などの各地域への被害状況とそれに伴う県への調査と原状回復に向けた要望などの状況は。

町長 海岸は、沖縄県の管理となっており被害状況の報告等も含め、当該箇所の環境改善について要請し、沖縄県から対応する旨の回答を得ている。

吉野議員 県には早急に対応してもらえよう強く要請してほしいが。

宝正徳 建設課長 再度文書を直接土木事務所に訪問し、早急に対応するよう要請していく。

当山久三翁誕生150年記念事業の総括

吉野議員 パレードに参加する方への事前周知は行っていたか。

町長 町の広報紙やポスター掲示、ホームページ、ラジオ、LINE、フェイスブック等のSNSを活用して周知した。

吉野議員 各区への出演演目の調整などは事前に十分行っていたか。

町長 9月に各区長及び各種団体長に対し、顕彰式で披露する獅子舞や踊り等の出演演目及びパレードへの参加の協力依頼している。また、町民参加型の顕彰式を開催するのは初めての試みであることから、各区長との個別調整も行っている。

吉野議員 演目の選定は各区に任せられたのか。

金城司 企画課長 説明会の際に演目については各区

に任せると話をしている。

吉野議員 演劇の音響等の乱れだがりハーサル時は天気が悪かったと聞いているがその時に重々検討なされたのか。

企画課長 リハーサルでは音響に関しては問題ないと報告は受けていたが、雨の音や大人数によって音響が乱れたということがあった。委託会社にはできる範囲で限界まで頑張ってもらったがなかなか聞こえづらい状況が続いたため反省すべき点だと感じている。

温泉施設の協定業務の進捗状況

吉野議員 温泉施設の開業に向けて、株式会社アイロムPMとの内容等を含めた進捗状況は。

町長 平成32年夏頃に開業する予定となっていたが、同社において開発行為許可手続の準備に時間を要し工程に一部変更が出ている。そのため建築工事の着工予定が平成31年7月頃、完了予定が平成32年10月頃、同年秋ごろの開業を予定しており全体で3カ月程度の遅れが生じている。



雨の中で行われた演劇



仲間 トム 議員

母牛を活用した 和牛肉のブランド化

仲間議員 牛農家と和牛ブランドにこの件に関して話し合いましたことはあるか。

仲間一 町長 和牛農家と連携を図り支援していくことで取組んでいる。

仲間議員 母牛肉を生かした生産、加工、将来的な可能性はあるか。

町長 肥育技術の向上と肉用牛の増産、今後整備予定の観光交流物産の拠点となる施設、(仮称)道の駅等において、金武町ブランドとしてPRを行うなど生産、加工、販売の仕組みづくりに和牛農家と連携して取組みながら、

将来的にはブランド化につなげたいと考えている。

糸村昌敏 農林水産課長

競りだと30万〜50万で競り落とされるのでそれ以上の利益につながるような販売計画を立てれば、将来的な可能性としては十分あると考えている。

仲間議員 和牛ブランドに対する町の考えは。

農林水産課長 石垣牛や伊江牛、もとぶ牛のように将来的には金武の和牛もそこまで持っていきたいと考えている。

仲間議員 母牛を一定期間、肉質を良くするためにはどれくらいの期間が必要で、どのような環境が一番好ましいと考えるか。

農林水産課長 母牛は3〜4回、子どもを繁殖させて子牛を競りにかけるといいうのが今の繁殖農家の例だが、3〜4回産んだ後の母牛には一定期間、肉質を良くするた

めに飼育しないといけないと考えており、ストレスのない飼育環境についても今後勉強して取組んでいかなければならないと考えている。

仲間議員 牛農家との話し合いはいつ行ったか。

農林水産課長 和牛部会の

総会の方で和牛農家と牛肉の出荷、肥育の件については話をした。12月にぬちぐすい・まゝさむんフェアで試験的に販売することで、いろいろ意見交換をした。

仲間議員 話し合いは何回ぐらい行ったか。

農林水産課長 総会等も含めて年3〜4回話し合いをしている。

並里地内や地区農道の危険

仲間議員 金武バイパス福祉センター方面からスピードを出す車両が多く見られ、農家や高齢者から苦情を何件か受けているが町の考えは。

町長 対策として、児童生徒が登下校で利用する町道には飛び出し注意の看板や英語表記で注意喚起を促す看板を設置してきた。また、見通しの悪い交差点やカーブにカーブミラーを設置し、安全対策を行った。

また、交通安全施設の対策として通行車両や歩行者への安全に配慮したガードレールやカーブミラー、注意喚起の看板、ランプ、停止線などの設置について、並里区と調整し整備を図っていく。

仲間議員 区内や農道を町民の生活の道路として安心して通行できるための具

体的な安全策は。

町長 保健福祉センター方面から武田原一帯の地域についても交通安全対策を行うとともに、町内道路においては違法駐車、迷惑駐車等をなくすよう町民の交通安全マナーの向上等、関係機関と連携をして交通安全意識の高揚を図っていく。



スピードが出やすいバイパスの側道



大城 一之 議員

金武町複合庁舎建設事業

大城議員 嘉手納以南の倉庫群や施設のキャンプ・ハルセンへの移設に伴い、要請した金武町複合庁舎のこれまでの進捗状況は。

仲間一町長 7月に担当課で沖縄防衛局を訪問し再編推進事業補助金等の国の補助金で可能な複合施設建設などの説明を受けた。

10月には北海道千歳市、北広島市を訪問し、防衛省の幹部職員や北海道防衛局の職員の案内で恵庭(えにわ)消防指令センター、千歳市防災学習交流センター、北広島市役所庁舎などの視察を行った。

大城議員 防災機能のアウトラインは。

町長 平常時においても防災に関する教育機能と地域住民の自主防災活動や避難訓練施設として活用できる防災拠点施設としての施設を検討していく。

大城議員 今後の事業計画は。

町長 平成31年度は、複合施設建設に向けて職員体制を整え、町民説明会の開催、外部有識者で構成する用地選定委員会、建設検討委員会等を設置して基本構想の策定計画を進めていく。

32年度からは検討委員会で引き続き検討を重ね、建設に必要な事務手続を進行させ、基本設計や実施設計を行い、34年度に造成工事、建設工事、35年度の完成を目指す計画的に複合施設の建設に取り組んでいく。

大城議員 庁舎で大事なのは窓口機能であり、町民の

利便性を考えた庁舎を造るにはどういった考えがあるか。

八重樫嶺央 政策調整監

現在、保健福祉センターや教育委員会等が役場の機能として分散されているため※ワンストップで対応できない問題がある。窓口機能に関して同じ規模でしっかりと重視をしなければいけないというものが、※ユニバーサルデザインの徹底になると考えている。

※ワンストップサービスひとつの場所ですまざまなサービスが受けられる環境

※ユニバーサルデザイン文化・言語・国籍や年齢・性別などの違い、障がいの有無や能力差などを問わずに利用できることを目指した建築(設備)などの設計

外国人児童生徒の受け入れと区域外就学

大城議員 校区外就学及び越境就学の現況・事由は。

比嘉貴一 教育長 金武小学校区から中川小学校に変更している児童が8人、中川小学校区から金武小学校に変更している児童が2人、嘉芸小学校区から金武小学校に変更している児童が1人いる。理由は、保護者の就労、下校後に祖父母等へ預ける、不登校への対応、教育環境を変えたくないため、居住の移動予定地への前倒しの転校のためなどである。

他市町村から本町の町立学校へ区域外就学を行っている児童生徒は、中川小学校に4人、金武小学校に4人、嘉芸小学校に2人である。理由は、保護者の就労、下校後に祖父母等に預ける、教育環境を変えたくない等

である。

本町から他の市町村へ区域外就学を行っている生徒は、うるま市の中学校に2人である。理由は、教育環境を変えたくないためとなっている。

大城議員 外国人児童生徒の受け入れ体制及び現況は。

教育長 金武小学校に1人、嘉芸小学校に1人在籍している。2人の児童は、ともに授業を受けるための十分な日本語力があり、授業における特別な対応は行っていない。

中川小学校には両親の片方が外国籍で日本国籍を有する児童がおり、その中には日本語力が十分とは言えない児童が複数在籍している。児童への対応としては、日本人英語指導助手の活用、タブレット端末の翻訳機能の活用、英訳の教科書などで対応している。



崎浜 秀幸 議員

障がい者に優しい町づくり

崎浜議員 障がいを持つ人

たちへの窓口対応は。

仲間一町長 障がいを

持った方々がどのような相談か、どのような手助けを必要としているかを筆談等でコミュニケーションを大切に、丁寧で相手の立場に立った対応を心がけている。

崎浜議員 手話のできる職員はいるのか。

島袋博 保健福祉課長

対応できる職員は数名いる。

崎浜議員 障がい者に対する窓口セミナーをする必要があると考えるが。

安富祖昇 総務課長

手話等障がい者に対応できる講

座を早めに取り組んでいきたい。

崎浜議員 バリアフリー化の現状は。

町長

町ではユニバーサルデザインを基本とした不特定多数の人が利用する公共施設や道路、公園等の生活環境のバリアフリー化に取り組んでいる。

崎浜議員 町立体育館の入口は段差が約10センチあり、車イス用の仮設スロープを設置する考えはあるか。

新里朝治 社会教育課長

仮設スロープ設置が可能か調べて早めに検討していきたい。

崎浜議員 障害者スポーツは取組んでいるか。

町長

金武町身体障害者福祉協会と連携し、毎年開催される沖縄県身体障害者スポーツ大会への参加及び練習に取り組んでいる。

崎浜議員 災害時の防災対策は。

町長 自らの行動により安全を確保することが困難で、他者の支援を必要とする障がい者、高齢者の方で名簿作成に同意した方を住所及び身体状況を把握できるよう要支援者台帳に登録している。作成した台帳は各区分に提供し、災害時の防災対策に活用される。

県民投票条例

崎浜議員 平成30年10月31日に公布された県民投票条例について町の考えは。

町長

投票資格者名簿の調製、投票及び開票の実施等には、市町村に移譲されており、県民投票経費を提案する予定である。

米軍機事故

崎浜議員 米軍機の墜落、不時着、炎上、そして落下物の事故等相次ぐ状況は基地を抱える金武町民として看過できない事態であるが町の考えは。

町長 米軍機の事故は、一歩間違えば人命や財産にかかわる重大な事故につながっていく。住民の安心安全な暮らしを守る立場から事故の徹底した原因究明と安全性の確認、再発防止に努めるべきであり、安全性の担保ができるまで飛行中止

すべきだと考えている。崎浜議員 日本政府に対してもっと強く訴えるべきでは。

町長

沖縄県軍用地転用促進・基地問題協議会で知事と一緒に総理官邸、外務省、防衛省で在日米大使館等へも抗議要請行動を何度もしている。

また、軍用地問題対策協議会での要請を含めた抗議行動というのも計画されており、知事と一緒にやってはつきりとその関連省庁に述べていきたい。

その他の質問事項

中川第4団地建設

学校給食の安全管理体制

平成30年 第6回 (12月) 定例会

平成30年第6回定例会が12月14日(金)に招集され、19日(水)までの4日間の会期で開催された。一般質問は14名の議員が登壇した。

各会計の補正予算や条例改正、教育委員、副町長の同意などの議案が上程され審議を行った。また「[辺野古米軍基地建設のための埋立ての賛否を問う県民投票条例]」に反対し、一日も早い普天間飛行場の危険性の除去及び閉鎖・返還を求める意見書を起立多数で可決した。県民投票に伴う経費を計上した補正予算(第5号)は起立少数で否決された。議決結果は、下記のとおり。

平成30年 第6回 (12月) 定例会 議決結果一覧

件 名	議決結果
平成30年度金武町一般会計補正予算(第4号) 歳入歳出それぞれ5,010万を追加し、補正後の予算総額を98億8,680万3,000円とするもの。補正の主なものは、歳入で地方交付税1,511万6,000円の増、民生費国庫負担金1,490万6,000円の増、総務費県補助金1,115万円の増。歳出で社会福祉総務費3,175万3,000円の増、塵芥処理費3,681万1,000円の増、体育施設費2,339万3,000円の増である。	原案可決 (全会一致)
平成30年度金武町国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号) 歳入歳出それぞれ33万1,000円を追加し、総額18億7,434万5,000円とするもの。補正の主なものは、人事院勧告及び沖縄県人事委員会勧告に伴う人件費の増である。	原案可決 (全会一致)
平成30年度金武町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号) 歳入歳出それぞれ8万8,000円を減額し、総額1億5,144万7,000円とするもの。補正の主なものは、歳入で事務繰入金73万円の減、繰越金の63万4,000円の増、雑入の8,000円の増。歳出で一般管理費73万円の減、繰出金の64万2,000円の増である。	原案可決 (全会一致)
平成30年度金武町下水道事業特別会計補正予算(第2号) 歳入歳出それぞれ1,147万5,000円を追加し、総額を4億746万1,000円とする。補正の主なものは、並里・金武地区農業集落排水事業に係る工事請負費及び台風24号の被害に伴う修繕費の増である。	原案可決 (全会一致)
金武町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について 平成30年度人事院勧告、沖縄県人事委員会勧告を考慮し、金武町職員の給与に関する条例の一部を改正するもの。	原案可決 (全会一致)
平成30年度金武町水道事業会計補正予算(第2号) 収益的支出の水道事業費用923万2,000円を加え、4億4,150万6,000円とするもの。資本的支出の資本的支出158万8,000円を加え、5,742万4,000円とするもの。補正の主なものは収益的支出で給水量の増による水道料金並びに受水費の増額。資本的支出は給水タンクの購入によるもの。	原案可決 (全会一致)
金武町税条例等の一部を改正する条例について 地方税法及び地方交付税法の一部を改正する法律及び地方税法施行令の一部を改正する政令が平成30年4月1日にそれぞれ公布されたことに伴い条例の一部を改正するもの。	原案可決 (全会一致)
金武町道路線の認定について 町道金武212号線を道路整備のため路線を変更するもの。	原案可決 (全会一致)

工事請負契約締結について 件 名：金武児童公園整備工事 契約の相手方：(有) 富島建設・(有) ユタカ基工 建設工事共同企業体 契 約 金 額：1 億 4, 2 7 5 万 4, 4 0 0 円	原案可決 (全会一致)
工事請負契約締結について 件 名：金武町立屋嘉地区運動場改修工事 (土木) 契約の相手方：(株) ホカマ・(有) 喜本産業 建設工事共同企業体 契 約 金 額：1 億 6, 0 4 2 万 1, 0 4 0 円	原案可決 (全会一致)
工事請負契約締結についての議決内容の一部変更について 平成 30 年第 4 回金武町議会 (6 月) で議決された内容の一部変更 件 名：伊芸地区畑地かんがい施設整備工事 契約の相手方：(株) ホカマ・(有) 喜本産業 建設工事共同企業体 契 約 金 額：「1 億 7, 4 6 6 万 8, 4 0 0 円」を「1 億 8, 0 9 0 万円」に変更	原案可決 (全会一致)
教育委員の任命について 平成 30 年 12 月 19 日をもって任期満了となる與那城厚氏を継続して教育委員に任命するため同意を求めるもの。	原案可決 (全会一致)
副町長の任命について 平成 30 年 12 月 19 日をもって任期満了となる池原均氏を副町長に再任するため同意を求めるもの。	原案可決 (全会一致)
「辺野古米軍基地建設のための埋立ての賛否を問う県民投票条例」に反対し、一日も早い普天間飛行場の危険性の除去及び閉鎖・返還を求める意見書について ※内容は下記のとおり	可 決 (起立多数)
平成 30 年度金武町一般会計補正予算 (第 5 号) 歳入歳出それぞれ 454 万 6,000 円を追加し、補正後の予算総額を 98 億 9,134 万 9,000 円とするもの。補正の内容は、辺野古米軍基地建設のための埋立ての賛否を問う県民投票条例に伴う経費。	否 決 (起立少数)
議員派遣に関する決議	可 決 (全会一致)

「辺野古米軍基地建設のための埋立ての賛否を問う県民投票条例」に反対し、一日も早い普天間飛行場の危険性の除去及び閉鎖・返還を求める意見書

去る 10 月 31 日に沖縄県は、「辺野古米軍基地建設のための埋立ての賛否を問う県民投票条例」(以下、「県民投票条例」)を公布した。県民投票条例を審査した沖縄県議会においては、賛否以外の選択肢を持つ修正案も提出されたが、認めてもらえず、全会一致とならず県民の総意に反する結果となっている。

去る沖縄県知事選挙においても県民の意志は集約されており、選挙戦の結果を誇示し追い打ちの様相が色濃く不穏当である。このことは玉城康裕県知事自ら「県民が選挙で明確な結果を示した辺野古移設反対の民意」と述べているにもかかわらず、再度、民意を問うことに対し 5 億 5,000 万円の県民の税金をかけて行うことは理解しがたい。県民には多種多様な意見がある為、住民感情等煽り県民を二分する可能性があり、看過できない。

また、県民投票条例は第 1 条の目的から第 14 条の委任で構成されているが、普天間飛行場問題の原点である危険性の除去や騒音問題等が置き去りにされ、県民の総意を示すものではない。

よって、金武町議会は「辺野古米軍基地建設のための埋立ての賛否を問う県民投票条例」に反対し、一日も早い普天間飛行場の危険性の除去及び閉鎖・返還を強く要請し、地方自治法第 99 条の規定により意見書を提出する。

平成 30 年 12 月 19 日

金 武 町 議 会

あて先 沖縄県知事

平成30年 第7回臨時会

平成30年第7回臨時会が12月25日（火）に招集された。

12月定例会で、否決となった平成30年度金武町一般会計補正予算（第5号）を再議し、前回の議決結果である「否決」の維持が否決され、その後補正予算の裁決を行い、起立多数で可決された。

議決結果

議案名	議決結果
<p>平成30年度金武町一般会計補正予算（第5号）再議の件について 平成30年第6回定例会で否決された平成30年度金武町一般会計補正予算(第5号)の否決維持。</p>	<p>否 決 (起立少数)</p>
<p>平成30年度金武町一般会計補正予算（第5号） 歳入歳出それぞれ454万6,000円を追加し、補正後の予算総額を98億9,134万9,000円とするもの。補正の内容は、辺野古米軍基地建設のための埋立ての賛否を問う県民投票条例に伴う経費。</p>	<p>原案可決 (起立多数)</p>

傍 聴 案 内

3月定例会は、3月4日（月）開会を予定しております。日程が決まり次第、有線放送やホームページでお知らせいたします。詳細については、議会事務局へお問い合わせください。

平成30年傍聴者数

1月臨時会	3月定例会	5月臨時会	6月定例会
0人	15人	1人	5人
9月定例会	12月定例会	12月臨時会	合 計
14人	17人	14人	66人

金武町議会事務局 有線電話：8-2292 NTT：098-968-2292

沖縄県町村議会新人議員研修会

1月31日(木)、那覇市の自治会館で沖縄県町村議会議長会主催の新人研修会が行われた。この研修は、当選1回目の議員が対象で講師の沖縄県町村議会議長会の石垣安秀事務局長から「議会の種類」、「会期の決定」、「質疑による発言は議題外にわたり又はその範囲を超えてはならない」、「議長との討論」、「委員会審査の流れ」等定例会の運営について説明があった。

また一般質問の意義として議員の検舞台であり、議案とは関係なく町の事務(一般事務)について町長に対し、事実や所信を質すことができ、1年に4回質問の機会がある。「調査なくして発言なし」という言葉のように一般質問は十分な調査をして質問をすることが大事である等一般質問に関する基本事項についての説明があった。

県内では昨年24町村で議員選挙が行われ、66人(うち女性26人)の新人が当選した。



町村議会議員・事務局職員研修会

2月15日(金)、南風原町立中央公民館で沖縄県町村議会議長会主催の町村議会議員・事務局職員研修会が開催された。研修会では沖縄県企画部市町村課長の松永享氏が地方自治法及び地方公務員法の改正により新たに制度化される「会計年度任用職員」や前年度と比べ減額となった沖縄振興特別推進交付金(一括交付金)の平成31年度における県と市町村の配分などについて説明があった。続いて行われた政治ジャーナリストの泉宏氏の講演では沖縄をめぐる政治の動きとして「2月24日投開票の辺野古米軍基地建設のための埋立ての賛否を問う県民投票の結果や投票率に政府は高い関心を示している」と述べた。



市町村行財税政等の状況説明をする松永享氏



沖縄をめぐる政治の動きを話す泉宏氏

各委員会委員を改選

2018年12月定例会において、各委員会の委員が改選されました。
新たな委員の任期は、それぞれ2020年12月10日まで。

